木造高生が市長とフレッシュトーク

若さあふれる発想で市の未来を考える

市の課題や疑問点を市長に問いかける生徒代表

10月21日、木造高校（笹浩一郎校長）で「市長とのフレッシュトーク」が行われ、同校1年生201人が福島市長と市の政策について話し合いました。

これは、高校生が市政について身近に感じてもらうとともに、若さあふれる新鮮な意見や発想を市長へ伝えることを目的に同校が企画したもので、生徒は総合学習の時間を利用して、市の課題や疑問点などを検討してきました。

この日は生徒代表の5人が地域の活性化や農業問題などについて質問や意見を発表。市長は一つ一つ丁寧に答え、「皆さんの発言は、感慨深いものでした。農業や福祉、教育など市の課題は多岐にわたりますが、市民の皆さまが積極的にまちづくりに参画し、元気で開かれた活力あるまちの姿を目指します」と述べました。

後日、参加した生徒から「市の特産品をもっとPRしたい」、「地元に残り、地域の活性化を支える一人になりたい」などの感想が寄せられました。

市長の説明を熱心に書きとめる生徒

進行を務めた盛はなのさん（右）と秋田谷和夏さん（中）

佐々木（ささき） 好き（こう） 君「つがる市の魅力PRについて」

問 **市の魅力PRで、産業が活性化し、人口流出が食い止められると思いますが、亀ヶ岡遺跡の世界遺産登録に向けた取り組みは。**

答 近年は、遺跡現地を訪れる方が増えており、市ではともに世界遺産を目指す4道県共通のリーフレットや現地の説明板を作成・設置し、遺跡来訪者に対して、より細やかな説明を行っています。さらに充実したPRを図るため、数年後、出土資料を展示するガイダンス施設の建設も構想しています。

問 **特にPRに力を入れている市の観光資源は何か。**

答 市が誇る特産品・食文化・伝統芸能・景観など、市民が選んだ22項目を「つがるの宝」として厳選しています。観光資源としては、ベンセ湿原、最終氷期埋没林などを含め、PRして行きたいと考えています。

活発な意見交換が行われたフレッシュトーク

橋村 暁星さん「つがるブランドについて」

問 **今後の戦略は。**

答 「ブランドを作るのは消費者の意識」であり、農産物等の品質、サービス、信頼性を高めることが絶対条件となります。今までの活動を踏まえ選果基準のレベルが高く、高価格が期待されるトップブランド農産物の選別や栽培を奨励し、高評価に結びつけ販売促進につなげたいと考えています。

問 **ブランドPRで私たち高校生ができることは何か。**

答 皆さんが市産の米、野菜、果物を食べることが一番効果的です。また、本校生徒が企画した「駅からハイキング」の津軽弁ガイドは素晴らしいアイデアで、観光客への最高のおもてなしだと思います。これからも農産物の高付加価値化などができるような、フレッシュな皆さんの「新しき発想」に期待します。

尾野 礼奈さん「つがる市の基幹産業である農業について」

問 **基幹産業である農業の活性化が市の活性化に結びつくと考えますが、市の対策は。**

答 農産物の長期間保存と生産の低コスト化を図るため、集出荷氷温貯蔵施設を建設しました。また、農業機械導入費の助成や新規就農者の支援などにより、農家の負担を軽減し、若手育成を行っています。さらに、農産物のブランド化や1次・2次・3次産業の連携を促進することで、農産物の品質低下の抑制や付加価値向上を図っています。

問 **農家をやめた方の農地を有効活用する方策は。**

答 本年より、農地中間管理事業が実施されています。管理団体が離農したい方などの農地を取りまとめ、まとまって借りたい農家へ貸し付けるもので、市では事業の相談を行っています。

山形 瑞紀さん「つがる市の人口減少について」

問 **全国的に地方の人口減少が問題になり、市においても、若年層の人口流出が増えています。若者を引きとめるための具体的な方策は。**

答 地方に働く場をつくり、若い世代の希望にきちんと応えることが重要だと考え、企業誘致に積極的に取り組んでいますが、現状はなかなか厳しい状況です。また、すべてのがん検診や子ども医療費の無償化など、安心して暮らせるまち、安心して子育てができる施策を行っています。加えて、定住対策の一環として「公営住宅整備事業」に着手し、桜木団地の大規模な建替え事業をスタートしました。平成32年度まで225戸の住宅建設を予定しています。その他、公共施設の長寿命化を積極的に進め、魅力あるまちづくりのために各種施策を実施していく必要があると考えます。

須藤 明日香さん「わら焼き問題について」

問 **稲刈りとともに、市内で盛んに行われるわら焼きは環境や身体に害を与えます。稲わらを処理できる場所を作ることはできないか、また、稲わらを活用した新たな産業を生み出すことはできないかと考えますが、市の対策は。**

答 市では、広報およびホームページに稲わら焼却防止に関する記事を掲載し、啓発に努めています。同時に焼却現場に直接出向き稲わらを焼かないようお願いしています。また、貴重な有機物資源である稲わらやもみ殻等の有効活用として、すき込みによる土づくりやロールベーラ(※)などでの収集による畜産農家への提供など、農業関係団体と連携して、農家の皆さまに協力を呼びかけています。今後も焼却処分の防止に関する施策を総合的に推進しながら、稲わら焼却ゼロを目指し、努力を続けます

※刈り取った稲わらや干し草を圧縮して梱包する農業機械

「若い人が希望を持てる農政を」

農水副大臣が稲作農家と懇談

平成26年産のコメの概算金が大幅に下落したことを受け、10月13日、あべ俊子農林水産副大臣と木村太郎首相補佐官が、森田町の天坂廣司さんの水田を視察に訪れ、地元の稲作農家と懇談しました。

天坂さんが「経営を引き継いで40年になるが、今が一番厳しい状況。若い人が期待の持てる農政を実現してほしい」と訴えると、あべ副大臣は「地域の雇用の根幹が農業。来年以降の生産に希望の持てる政策を早急に検討します」と応じました。

この後、木造農村環境改善センターで福島市長や県内の農協組合長らが参加し意見交換会を実施。参加者は「地域農業救済のために特段の配慮を」「収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）未加入者にも救済措置を」などと要望しました。これに対し、あべ副大臣は「現場の意見をしっかり農林水産大臣に伝えます。農家の不安を解消し、希望を持って農業ができるような政策で対応していきたい」と述べました。

天坂さん（右から２人目）の訴えに耳を傾けるあべ副大臣（中央）

地域農業の代表者らが参加した意見交換会

国際交流フェアで異文化と触れ合う

国際交流員らが出身国の文化を紹介

国際交流フェアが10月19日、松の館で行われ、市内外から訪れた約１５００人の来場者で会場は大いに盛り上がりました。

これは、つがる市姉妹都市協会（野呂充志会長）が異文化に触れ合い、姉妹都市への理解を深めてもらおうと毎年行っているもので、県内各地の国際交流員や外国語指導助手の協力により運営されています。

この日は、タコス（メキシコ）やアップルサイダー（アメリカ）など世界各国の料理や飲み物が無料で振る舞われたほか、ハロウィーンにちなんだ風船細工やカードを使った異国文化紹介ゲームなどが行われ、参加者は楽しみながら外国文化を堪能していました。お菓子などの景品が当たるフリスビー的当てやビンゴゲームも人気を集めていました。

また、会場には姉妹都市の米国バス市、北海道白老町、千葉県柏市を紹介するコーナーも設けられ、訪れた人たちは、姉妹都市との交流に関心を寄せていました。

ビンゴ当たるかな

異国の食文化に挑戦

イベントを盛り上げた国際交流員ら

秋晴れの下 720人が健脚競う

地球村一周マラソン大会

一斉にスタートする10㌔コースの参加者

つがる地球村で9月28日「第10回つがる地球村一周マラソン大会」が開催され、県内外から参加した過去最多の約720人が爽やかな汗を流しました。

開会式では主催者の市体育協会・成田昭司会長のあいさつに続いて、牛潟町の小山内郁弥さん、希龍君の親子が選手宣誓。参加者は個人の部3㌔、5㌔、10㌔、ファミリーの部1.5㌔のコースに分かれて、秋晴れの道を軽快に走りました。

第10回目の記念大会として開催した今回は、お笑いコンビ「デンジャラス」さんをスペシャルゲストとして招待。1.5㌔コースの出場やお笑いステージの披露など大会を盛り上げていました。

家族一緒にゴールを目指しました

力強く選手宣誓する小山内さん親子

完走者を迎える「デンジャラス」さん

自然に囲まれたコースで力走

大会結果

10km

順位	氏名	住所	タイム
高校・一般男子（39歳以下）			
1	相馬佑樹	弘前市	32分51秒
2	髙橋哲	むつ市	33分14秒
3	原和也	黒石市	34分12秒
一般男子（40歳以上）			
1	斎藤大祐	弘前市	34分08秒
2	三谷享	六ヶ所村	35分16秒
3	小山内健一	弘前市	35分24秒
高校・一般女子（39歳以下）			
1	齊藤玲子	青森市	41分00秒
2	齋藤美香	青森市	41分21秒
3	前田さと子	弘前市	44分54秒
一般女子（40歳以上）			
1	伊藤朝美	五所川原市	42分11秒
2	山田春美	弘前市	45分58秒
3	小笠原千恵	青森市	46分40秒

5km

順位	氏名	住所	タイム
高校・一般男子（39歳以下）			
1	小野雄大	弘前市	16分32秒
2	斉藤英樹	青森市	16分43秒
3	松山雅治	弘前市	17分02秒
一般男子（40歳以上）			
1	山崎貴穂	弘前市	17分42秒
2	沼尾英司	弘前市	17分42秒
3	関健英	大館市	17分47秒
高校・一般女子（39歳以下）			
1	築舘あゆみ	弘前市	20分51秒
2	敦賀奈津子	青森市	20分57秒
3	齋藤ゆかり	弘前市	22分45秒
一般女子（40歳以上）			
1	川越七重	つがる市	19分50秒
2	藤田綾子	青森市	21分24秒
3	東出さおり	六ヶ所村	21分51秒

3km

順位	氏名	住所	タイム
中学校男子			
1	小山内彪	つがる市	10分20秒
2	花田峻司	弘前市	10分24秒
3	加藤翔大	つがる市	10分26秒
中学校女子			
1	松橋和奏	つがる市	11分27秒
2	齋藤ひなた	青森市	11分40秒
3	楠美はるか	五所川原市	13分30秒
小学4年生以上男子			
1	工藤心平	鶴田町	10分53秒
2	奥井陸	弘前市	11分17秒
3	三上伯	五所川原市	11分23秒
小学4年生以上女子			
1	堀内望玖	青森市	11分10秒
2	荒川ゆう	八戸市	11分55秒
3	古坂みなみ	つがる市	13分10秒
一般男子（60歳以上）			
1	花岡正美	平川市	11分45秒
2	奥井正敏	弘前市	11分48秒
3	柳沢博明	弘前市	11分53秒